

発行：利尻島自然情報センター 利尻町杓形字富士見町 小杉和樹 〒097-0401 Fax 0163-84-3145

7月は駆除会を2つ実施！

ようやく利尻に夏が来た感じの7月中旬以降でした。7月は二つの駆除会を実施しました。一つ目は7月17日の海の日に合わせて「コマドリプロジェクト」に共催しての北麓野営場からの登山道脇での駆除会。地元6名と稚内からの利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティア3名、あわせて9名でコバノハイキンポウゲを15kg程を駆除しました。ここでの駆除会は、2009年と2011年、その後2013年から毎年行い、今年で7回目になることもあって、一部かなり減ったところもあるものの、未だ林床一面コバノハイキンポウゲというところもあり、



これからも駆除を継続して行きたいと考えています。

二つ目は、駆除会としては初の試みとなった、オタトマリ沼の遊歩道脇で外来種全般を対象とした駆除会でした。湖畔を時計回りに廻りながら、目立つブタナを中心に駆除しましたが、真ん中あたりで数が多くなり、駐車場横のアワダチソウや売店花壇のオオキンケイギクの駆除も予定していたので、続きは次回にすることにしました。



稚内からのPV1名とAR1名、地元5名の合わせて7名で約28kgの駆除となりました。

鴛泊中学校の駆除会アシスト募集

8月は中々、日程の調整がつかず、駆除会は見送ることにしました。ただ、8月23日には鴛泊中学校の1年生が地域学習として南浜湿原でオオハンゴンソウの駆除活動をするので、そのアシストが必要です。お手伝い可能な方はご連絡ください。なお、駆除前に南浜湿原の観察もしますので、その解説もお手伝いいただければ幸いです。

○日 時：8月23日（水）午前9時半から11時半まで

○場 所：南浜湿原

これまで、そして、これから

驚きました！！7月15日に、今年初めて沼浦海岸にオニハマダイコンの様子を確認に行ったのですが、何と夥しい数のオニハマダイコンが繁茂しているのではないですか！それも、中型の株になっているものもかなりありました。実生が数本確認できる程度とっていたので、その驚きとショックは相当なものでした。

昨年、最後に確認したのは、10月1日で、実生をたった1本駆除しただけでした…。それが、こんなになっているなんて…。多分、新しい種が運ばれた訳ではなく、砂に埋もれていた種が、波の侵食で表面に近くなって、発芽したのだと思います…。この分だと、どれほどの種が埋もれているのかわかりませんが、未だ未だ定期的な観察と駆除が必要なようです。

結局、その日は168本を抜いたものの、大型ゴミ袋が2つにもなり、時間切れ。翌日、再度の駆除で865本を駆除し、合計で1,033本の駆除となりました。これからは、小まめに確認に行きます。



	種富湿原	南浜湿原	オタトマリ沼	仙法志	杓形	鬼脇	鴛泊	計
2017年目標	2,500本	50,000本	500本	50本	200本	0本	0本	53,250本
2017年実績	0本	39,531本	76本	0本	0本	0本	0本	39,607本

2017年実績は、6月末までに報告のあった数の集計です。作業をされた方は場所、日時、駆除本数を毎月末までに報告して下さい。（この通信は環境省グリーンワーカー事業「平成29年度利尻島外来種除去等業務」を受託して発行しています。）